

# とちぎ脱炭素先行地域創出プロジェクト アクションプラン

[ 計画期間 2023~2030年度 ]

令和5（2023）年3月28日  
環境森林部環境森林政策課

# 1. 策定の趣旨等

- 「2050年とちぎカーボンニュートラル実現に向けたロードマップ」に掲げた重点プロジェクトに基づき、2030年度までの実行計画として目標との方策を定めます。

## ロードマップの全体像 (一部抜粋)

2030年度 温室効果ガス▲50%削減 (2013年度比)

オールとちぎ

県民

産業 交通 業務 家庭

- **エネルギー消費の抑制**
- **地産地消型再生可能エネルギーの導入拡大**

非エネ

事業者

行政

各分野における取組を重点プロジェクトにより**牽引・加速化**

技術・製品開発や資源の循環利用の促進

再生可能エネルギーの最大限導入

**脱炭素先行地域の創出**

県庁が率先して大幅削減

## アクションプラン (AP)

オールとちぎによる各分野の取組を牽引・加速化するための**重点プロジェクト**を県が**戦略的かつ着実に推進するための実行計画**

**とちぎグリーン成長産業創出 AP**

カーボンニュートラルを契機とする県内産業の成長

**とちぎ再生可能エネルギーMAX AP**

地域との調和や資源の積極的な活用を図った再生可能エネルギーの最大限導入

**とちぎ脱炭素先行地域創出 AP**

モデル地域の創出・脱炭素ドミノの展開

**とちぎ県庁ゼロカーボン AP**

県庁の温室効果ガス▲80%削減の達成

□ 本アクションプランに掲げる目標値や目標達成に向けた取組等は、今後の国のエネルギー政策や技術革新の進展等を踏まえ必要に応じ柔軟な見直しを行うほか、推進に当たっては、国庫補助金や地方債、既存基金等の活用に努め、一般財源の負担軽減を図る。

## 2. 目標



- 県は、**モデル地域の創出**とその過程で得られたノウハウ等を基に市町を支援することで、**県内の脱炭素ドミノ**を展開します。

### <①脱炭素先行地域の創出>

2025年度までに **脱炭素先行地域** に少なくとも **4箇所** が**選定**

✓レジリエンスの高い地域



住宅

✓持続可能性の高い酪農業



酪農施設



道の駅



レストラン・事業所



地域新電力



小学校



廃棄物処理場



バイオガス発電



小水力発電



サッカー場

✓創出された再エネが高効率に域内循環した地域

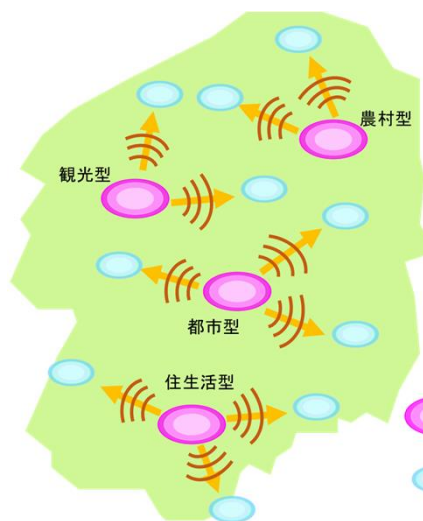
…導入した再エネを自家消費する施設

(那須塩原市の脱炭素先行地域イメージ)

### <②県内他地域への波及（脱炭素ドミノの展開）>

2030年度までに 県内**25市町**が地域脱炭素に関する具体的な取組に**着手**

#### 地域脱炭素の波及イメージ



#### 【地域脱炭素とは】

- 地域特性を踏まえて、再生可能エネルギーの導入や省エネにより、地域でのカーボンニュートラルを実現すること

脱炭素先行地域

横展開の取組

## 2-1. 脱炭素先行地域とは

### <①脱炭素先行地域の創出>

2025年度までに **脱炭素先行地域** に少なくとも **4箇所** が選定

#### [脱炭素先行地域とは]

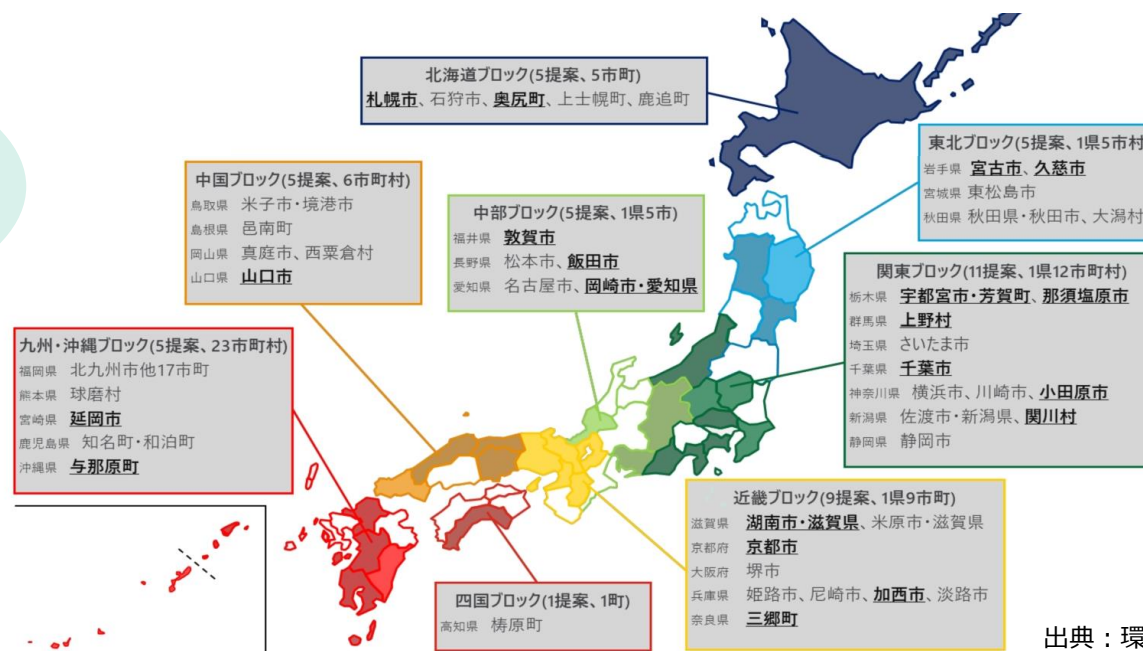
地域特性に応じた再生可能エネルギーの導入などの脱炭素の取組を実施することで、2030年度までに民生部門（家庭やオフィス等）において、**電力由来CO2排出実質ゼロ**を目指す地域のことを指します。

国は、「**脱炭素ドミノのモデル**」として、2025年までに少なくとも**100か所**選定するとしています。

2022年11月時点

全国 **46**箇所

栃木県 **2**箇所



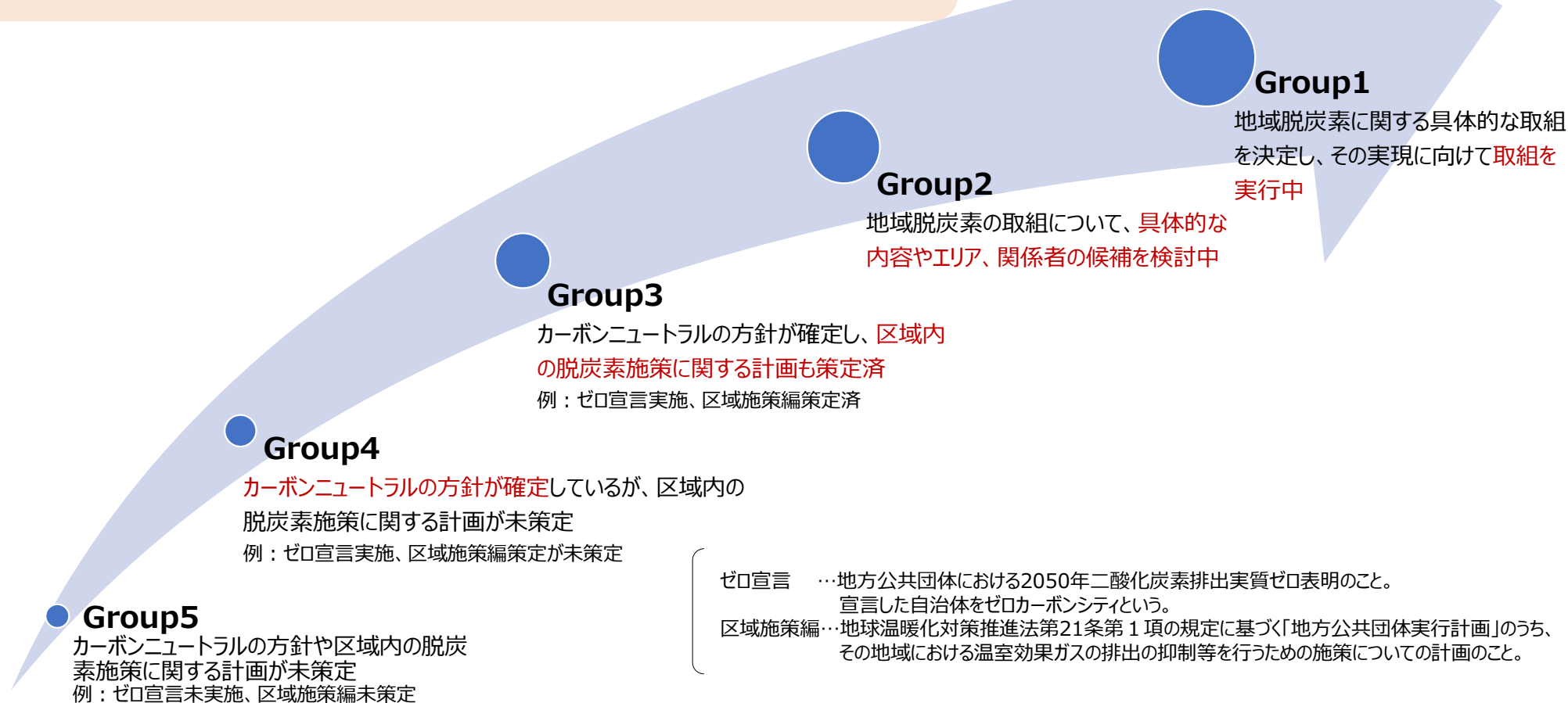
出典：環境省

## 2-2. 脱炭素ドミノの展開イメージ



### <②県内の他地域への波及（脱炭素ドミノの展開）>

2030年度までに 県内**25市町**が地域脱炭素に関する具体的な取組に**着手**



### 3. 実施行程表

